

質 問 書 (回 答)

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2021 年 7 月 26 日

「(案件名) マダガスカル国種子生産圃場・施設整備計画準備調査 」

(公示日:2021 年 7 月 7 日/調達管理番号:21a00175)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1.	第3 特記仕様書 2. 事業の概要 1) 施設 及び 6. 業務(調査)の内容 (4) サイト状況調査 2) 自然条件等の調査	現地再委託調査の見積もり額の概略を把握するため、対象施設の以下の情報をご存じの範囲でご教示いただけますでしょうか。 ・種子生産圃場面積 ・既存灌漑施設の種類・数量 ・既存建物の数量・規模 ・既存農業機械の種類・数量 ・既存機材(分析機器など)の仕様・数量	対象施設に係る主な情報は以下の通りとなります。 ・種子生産圃場面積: 国立農村開発応用研究所(FOFIFA)ブングラバ県-2ha、FOFIFA アロチャ・マングル県-2ha、種子増殖公社(CMS)-550ha ・既存灌漑施設の種類・数量: FOFIFA アロチャ・マングル県-ため池 1 か所(2017 年、世銀 PHRD プロジェクトで掘削。ただし 2ha の種子生産用水田の灌漑には不十分)、FOFIFA ブングラバ県-ため池、恒久堰 1 か所(2008 年に設置。ただし老朽化による漏水、ため池の土砂堆積により 2ha の種子生産用水田の灌漑には不十分)。深井戸・給水塔 1 か所(試験場の種子ラボラトリー用。2017 年、世銀 PHRD プロジェクトで掘削したが未完成のまま終了)

			<p>・既存建物の数量:規模 FOFIFA 本部(オフィス及び資料庫(2階建て)-延床計 200 m²)、FOFIFA アロチャ・マングル県(研究棟及び種子ラボ-計 400 m²、種子保管庫-200 m²)、FOFIFA ブングラバ県(研究棟及び種子ラボ-計 200 m²)、CMS(オフィス(平屋)-200 m²、種子保管庫(平屋)2棟-延床計 800 m²)</p> <p>・既存農業機械の種類・数量 FOFIFA アロチャ・マングル県(ハンドトラクター1台(中国製)、リーパー1(日本製))、FOFIFA ブングラバ県(ハンドトラクター1台(中国製)、リーパー1台(大型トラクター1台))、CMS(ハンドトラクター1台(中国製)、大型トラクター2台。2008年のインドによる借款で購入(インド製)。老朽化とスペアパーツ不足で今も稼働するかは不明))</p> <p>・既存機材(分析機器など)の仕様・数量 FOFIFA アロチャ・マングル県(大型冷蔵庫1台、4WD車両1台)、FOFIFA ブングラバ県(4WD車両1台)、SOC(大型インキュベーター2台、乾燥機、水分計、消耗備品、大型冷蔵庫2台、化学検査用機材、新規品種登録・認証用機材、4WD車両1台等)、CMS(5トントラック1台)</p> <p>・その他 FOFIFA アロチャ・マングル県(深井戸掘削1か</p>
--	--	--	--

			所、給水塔 1 基、研究棟及び種子保管庫用ソーラー発電システム1か所、圃場の灌漑のための池掘削)、FOFIFA ブングラバ県(深井戸ソーラー発電システム1か所)
2.	通番号 1 に同じ	圃場の『均平化』を行うのは、アロチャ・マングル県の種子増殖公社(CMS)のみとの理解でよろしいでしょうか。その理解でよい場合、対象となる面積はどの程度でしょうか。	CMS のほか、上記 2 県の FOFIFA における圃場も対象となります。面積は、計約 554ha です。
3.	第3 特記仕様書 2. 事業の概要 (2)事業の概要 1)施設	<p>建築設計の対象は、FOFIFA 本部、SOC(以上、アナラマンガ県)、CMS(アロチャ・マングル県)であり、FOFIFA アロチャ・マングル県試験場と FOFIFA ブングラバ県試験場は対象外と理解してよろしいでしょうか？</p> <p>また、対象施設の敷地条件(建設候補地の位置・面積、起伏の有無等)を教示いただけますでしょうか？</p> <p>あわせて、想定される整備内容(事務室、研究室等、各拠点における施設の整備内容)を教示いただけますでしょうか？</p>	<p>FOFIFA ブングラバ県試験場の研究棟及び種子ラボ(2階建て)延床計400㎡、FOFIFAアロチャ・マングル県試験場の研究棟及び種子ラボ(平屋)計200㎡も対象となります。</p> <p>対象施設の敷地条件に関して、ブングラバ県試験場以外は平坦地となります。ブングラバ県試験場は起伏のある土地です。</p> <p>想定される整備内容に関して、事務室、研究室は、電気・水供給の問題が常にあります。このため、全ての施設に太陽光発電システムを設置し、種子保管用冷蔵庫や研究用機材等の電源とする計画です。特に、FOFIFA ブングラバ県試験場については、水道供給が未整備のため、深井戸の掘削による施設への給水システムの整備を想定しており、ポンプの動力源としてのソーラーシステム活用も念頭に置いています。</p>

4.	<p>第3 特記仕様書</p> <p>5. 実施方針及び留意事項</p> <p>(3)現地調査の実施方法</p> <p>2)第一次現地調査</p> <p>①事前調査(MAEPとの協議)</p>	<p>種子増殖公社(CMS)は、農業・畜産・水産省(MAEP)に属する政府組織でしょうか。または、半官半民の組織でしょうか。現在のCMSの組織形態につき、ご存知の範囲で詳細をご教示いただけますと幸いです。</p>	<p>CMSは、農業・畜産・水産省(MAEP)の管轄下にある独立採算の公社です。かつては全国42か所に設置されましたが、政府が慢性的財政難の状況であるため独立採算制となり、現在残っているのはアロチャ県のCMSを含む5か所未満となっています。</p>
5.	<p>第3 特記仕様書</p> <p>6. 業務(調査)の内容</p> <p>(3)事業の背景・経緯の確認</p>	<p>マダガスカル国家開発計画は2015-2019版まで確認できますが、もしこちらの後継版を保有されていればご共有ください。</p>	<p>後継版は、現政権が掲げるPEM(Plan Emergence Madagascar:マダガスカル振興計画)が相当します。現在、マダガスカル政府で最終化しており、現時点で共有できる資料はございません。</p>
6.	<p>第3 特記仕様書</p> <p>6. 業務(調査)の内容</p> <p>(5)施設・機材計画調査</p>	<p>1)施設計画調査、2)建築計画調査が項目として挙げられています。指示書には想定されるコンポーネントとして、FOFIFA本部、SOC及びCMSの既存施設の改修があり、1)と2)の調査はこれを指していると思われそうですが、施設と建築と分けられている意図が分かりませんでした。施設と分類されている内容について御教示願います。</p>	<p>施設計画調査には、灌漑に係る土木施設を含め、建築計画調査はそれ以外の建屋やラボ等の建築構造物を指しています。</p>
7.	<p>第3 特記仕様書</p> <p>6. 業務(調査)の内容</p> <p>(9)事業内容の計画策定(概略設計)</p>	<p>「第一次現地調査帰国後30日以内をめどに概略設計方針会議を開催する」ことが記載されていますが、コロナによる国内隔離期間があり、年末年始を挟むことから、実際の提出はこれらの状況を考慮して提出できますでしょうか?</p>	<p>期間は目処のため、コロナの影響や年末年始を踏まえ、考慮させていただきます。</p>
8.	<p>第4 業務実施上の条件</p> <p>1. 業務工程</p>	<p>2022年4月下旬に第二次現地調査(報告書案説明)を実施することが想定されていますが、官ミッションは何日間の派遣を想定されていますか?</p>	<p>現時点では、10日間の派遣を検討しています。</p>

		しょうか?	
9.	第4 業務実施上の条件 7. 業務主任の総括団員への同行	現地調査に関し、業務主任は、総括(JICA)団員滞在期間中は原則として総括(JICA)団員の調査に同行することとあります。JICA 団員による第1次現地調査、第2次現地調査は何日間を想定されていますでしょうか?	第1次現地調査では2週間、第2次現地調査は10日間を想定しています。

以 上